

6がつ生まれのおともだち  
おたんじょうび おめでとございます



誕生日は誰にでも必ず年に一度訪れる特別な記念日です。記念日というのは何の日でしょうか。みんなでケーキやプレゼントを囲んでお祝いする日でしょうか。改めて「記念」という言葉を調べてみますと「過ぎ去った物事などを思い起こすこと」と出てきます。ということは誕生日とは今この時をお祝いしているのではなく、むしろこれまでの歩みを思い起こしていると言えます。そしてそこに常に神様の守りがあったことを確認し、これからの成長を安心してお任せするので、そのような豊かな誕生日をお迎えください！

★5月生まれのお友だちのお誕生会を6月16日(水)を予定しています。

今年度も園児のみでお誕生のお祝いを致します。

★これからも神様に守られて健やかに 心も体も大きくなりますようにお祈りしています。

なぜ子どもたちにとって甘えることが大切なのでしょう？

赤ちゃんとして生まれた子どもたちは、

自分の欲求（おっぱいがほしい・オムツを替えてほしい・遊んでほしい）を  
“泣く”という行為でしか表すことができません。

すると、親は「どうしたの？」と言って、

してほしいことが何かを探して、やってあげます。

赤ちゃんはしてほしいことが満たされると、満足して笑顔になります。

この「してほしい」⇄「してもらえる」の繰り返しの中から、

赤ちゃんである子どもたちは「してもらえる喜び」を感じ、

「人っていいんだなあ」という気持ちになるのです。

「してもらえる喜び」は「自分が大切な人間だからしてもらえるんだ」と変化し、

自信（言いかえれば自己肯定感）につながります。

「人っていいんだなあ」という気持ちには性善説に変化し、人を好きになります。

人は自信を持ち、人を好きになることで、独り立ちして社会へ出ていけるのです。

したがって、甘えること、甘えさせてもらうことは、

自立への大きな礎となっています。

引用 「たがのわ 多賀先生のあったか子育てアドバイス」 心力舎

多賀千之

多賀千之・安藤梢 編著